

080101各種商品卸売業における死亡災害事例（1999-2022年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事 故 の 型	労 働 者 規 模
2021	3	6 ～ 8	被災者2名が2 tトラックに乗り、納品先へ向かうため、高速自動車道インターチェンジ付近を走行していた。前方のトラックを追い越し車線から追い越し、左車線へと戻る際にハイドロプレーニング現象が起こり、ハンドル操作が利かず左外壁へ衝突し、助手席に乗っていた被災者が死亡した。なお、事故発生時、強い雨が降っていた。	221	17	10 ～ 29
2018	12	21 ～ 22	横断歩道を歩行中に右方から走行してきた車に激突され死亡したもの。	231	17	100 ～ 299
2017	10	8 ～ 9	塗装工事現場において、店舗屋上の明り取り（トップライト）の施工方法について打ち合わせに来た元請事業場の営業職である被災者が、同明り取りのガラス部を踏み抜き、7 m下の床に墜落した。	415	1	1～ 9
2016	10	12 ～ 13	社用車にて、客先へ配達中、雨が降っていて道路の轍に水たまりができており、その上で車がスリップし、右側に滑った後左側に横転した。	231	17	10 ～ 29
2014	5	11 ～ 12	廃品回収品をトラックから荷下ろす作業を行っていた際、被災者がトラックの荷台上で作業し、同僚が地上で荷の整理をしていたところ、被災者がトラックの後方で倒れているのが発見された。尚、ヘルメットは未着用であった。	221	1	10 ～ 29
		23	作業場へ向かう途中、被災者が運転するワンボックスカーが停止していた			10

2013	11	～	トラックに追突し、被災者は死亡した。尚、トラックは故障して車線上で	231	17	～
		24	停止していた。			29
2010	8	10	都市高速の出口から国道へ入る際、わき見運転により道路を外れて橋脚に	231	17	1～
		～	衝突し死亡した。			9
		11				
2010	7	16	被災者は、配達後に注文書をリーダーに渡そうと指定のコンビニに向かっ	715	11	50
		～	てトラックを運転中、エアコンの調子が悪く、梅雨明けの高温高湿であっ			～
		17	たため、車内の温度が上昇して気分が悪くなった。体調を回復させようと			99
			近くのコンビニ駐車場にトラックを停めて車両から降りようとした際、崩			
			れ落ち意識を失った。病院に搬送されるも翌日に熱中症により死亡したも			
			の。			
2010	5	15	被災者は単独で建材倉庫内において廃材の分別、廃棄作業中、倉庫内の棚	418	1	10
		～	さんに足をかけた際、高さ82cmから墜落し、コンクリート面に頭部を			～
		16	打ちつけ死亡したものの。			29
2008	4	14	被災者は、商品を納品するために会社のワゴン車で納品先へ向かう途中、	231	17	10
		～	国道バイパス交差点で対向車線からスリップして飛び出してきたトレー			～
		15	ラーと衝突して死亡した。			29
2008	11	8	バッテリーフォークリフトで荷の搬送作業中、パレット上の荷崩れ状態を	222	7	10
		～	確認するためにフォークリフトのヘッドガードの上に乗って確認した。その			～
		9	後フォークリフトの運転席前部に足をかけ降りようとしたところ、足を滑			29
			らせ転落してティルト後傾の操作レバーの上に臀部が乗ったことで、運転			
			席側に動いたバックレストとヘッドガードの間に頭をはさまれた。			
2006	7	14	営業中の被災者が運転するライトバンが、県道脇の電柱に衝突し身体を強	231	17	50
		～	打した。			～
		15				99
2005	10	9	軽ワゴン車で国道を走行中、交差点で、赤信号で停車していたトラックに	231	17	10
		～	追突した。			～
		10				29

2005	5	9 ～ 10	ワンボックスカーで走行中、山側から石が落ちてきて、車の屋根を直撃・貫通して被災者に激突した。	711	4	30 ～ 49
2005	4	13 ～ 14	トラックで走行中に、信号のある交差点においてワゴン車と出会い頭に衝突した。	221	17	1～ 9
2004	2	13 ～ 14	パソコンサポートカウンターにおいてアルバイトに対する稼働計画を作成中、床に倒れ意識を失った。	911	90	50 ～ 99
2004	12	5 ～ 6	2t保冷車で国道を走行中、対向車線を走行していたトラックが車線をはみ出し、保冷車と正面衝突した。	221	17	1～ 9
2003	6	5 ～ 6	中央市場の水産棟卸売場において、セリ人に付いて記帳している最中に気分が悪くなったのでセリ場を離れて休んでいたが、やがて倒れこんで意識がなくなりくも膜下出血により死亡した。	911	90	50 ～ 99
2002	12	20 ～ 21	物流センターの一階倉庫（主に酒類置場）において、フォークリフト（オーダーピッカー）を使用して商品ラック4段目にあった商品を取ろうとしていたときに、運転席（高さ3.04m）からコンクリート製の床面に墜落し頭部を強打した。	222	1	100 ～ 299
2001	2	0 ～ 1	出張中、車で食事に向かう途中で信号機の無い交差点で他の乗用車と衝突し、その弾みで民家のブロック塀に激突した。	231	17	100 ～ 299
2001	5	5 ～ 6	トラックで得意先へ商品を配達中に、道路上にいたドラグショベルに追突した。	221	17	50 ～ 99
2001	1	11 ～	海上に係留中の船に食料品を運ぶため船長ら5名とともに出港し、到着後、右舷中央部から降ろされた昇降用のタラップに乗り移るため船首に立って	239	10	30 ～

		12	いたときに、大波を受け海へ転落した。			49
2000	8	13 ～ 14	自動車道を営業車で走行中、追い越し車線に進路変更してきた先方の軽自動車と接触し、はずみで右側ガードレールの開口部から約20m下に転落した。	231	17	30 ～ 49
2000	8	4 ～ 5	大型トラック(10tで)高速道路を走行中3.7キロ前方で発生した事故のため渋滞していた最後尾の大型トラック(9.5t)に追突し、5台(後方からトラック3台(10t、4t2台、普通車)の玉突き事故となった。5台の真中の4トントラックの運転手が首に軽傷を負った。	221	17	1～ 9
2000	8	4 ～ 5	大型トラック(10tで)高速道路を走行中3.7キロ前方で発生した事故のため渋滞していた最後尾の大型トラック(9.5t)に追突し、5台(後方からトラック3台(10t、4t2台、普通車)の玉突き事故となった。5台の真中の4トントラックの運転手が首に軽傷を負った。	221	17	1～ 9
2000	1	11 ～ 12	古紙等を圧縮・梱包する機械のコンベアにダンボール古紙を投入する作業中に機械のホッパにダンボールが詰まったため、センサーにより一時停止したコンベア上を歩いて昇り上部投入口からダンボールを取り除こうとしたときにバランスを崩してホッパ内に段ボールとともに転落し、詰まりが解消したことをセンサーが検知して圧縮用ピストンも作動し始めたため古紙とともに押し潰された。	169	1	1～ 9
2000	7	14 ～ 15	軽トラックの保冷車で魚を客先に卸しに行った帰路に、国道でバスと激突した。	221	17	1～ 9
2000	3	18 ～ 19	プラットホームでフォークリフトをバックで運転していたときに、高さ4cmの車止めを乗り越えて81.5cmの高さのプラットホームの端からフォークリフトごと転落し、ヘットガードに胸を挟まれた。	222	1	100 ～ 299
1999	10	8 ～ 9	製品倉庫で出荷の準備をしていて、1階エレベーター前の床面で頭部より血を流して倒れているのを同僚に発見された。	214	1	10 ～ 29

1999	6	8 ～ 9	営業で車を運転していて、前のトラックを追い越して前に出ようとしたところ、雨のためタイヤがスリップして左側のガードレールに衝突したところへ、後方からきたトラックに追突された。	231	17	10 ～ 29
1999	6	0 ～ 1	靴売り場の照明器具を移動するため、脚立に乗って天井に取り付けてあるコンセントを外す作業を行っていたときに、体のバランスを崩し2、1m下に転落した。	371	1	10 ～ 29
1999	7	16 ～ 17	2トン保冷車で走行中、センターラインをはみ出して対向の12トン大型貨物自動車と正面衝突した。	221	17	1～ 9
1999	5	6 ～ 7	得意先へ荷物を配達するために事業場の倉庫で商品を積み込む作業をしていたところ、後方より走行してきた乗用車に追突され約3m飛ばされた。	231	17	1～ 9
1999	1	11 ～ 12	同僚運転の助手席に乗り、得意先の年始回りの途中、県道において前方に止まっていたトラックの後部に脇見運転により激突した。	231	17	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311_01.htmlに戻る。